

取材のお願い

公益財団法人 古川知足会 古川美術館
「追悼 篠田桃紅 107年のキセキ」展
プレスリリース

追悼 篠田桃紅

107年のキセキ展

Toko Shinoda 107 years of her life

古川美術館
分館 爲三郎記念館 (旧古川爲三郎邸)
同時開催

2024年6月15日(土) ▶ 7月28日(日)

名古屋で8年ぶりの
大規模な篠田桃紅展！

ザ・トールマン コレクションによる
貴重な肉筆、リトグラフ総数50余点！

Held simultaneously at the Furukawa Art Museum and the Tamesaburo Memorial Museum

A memorial exhibition

Venue: Furukawa Art Museum, Tamesaburo Memorial Museum

Closed: Mondays [except Jul.15] Jul.16

Hours: 10:00-17:00 [Last entry 30 minutes before closing]

Organized by The Furukawa Chisoku Foundation [Furukawa Art Museum] Directed by The Tolman Collection Cooperation of QOL+ART Co.,Ltd. Sponsored by SMBC Nikko Securities Inc. Supported by Aichi Prefectural Board of Education, Nagoya City Board of Education, The Chunichi Shimbun, CBC Television Co.,Ltd., Starcat Cable Network Co.,Ltd.

篠田桃紅「Omnipotence」2014年(部分)

THE TOLMAN
COLLECTION
TOKYO

古川美術館
爲三郎記念館
FURUKAWA Art Museum
公益財団法人 古川知足会

古川美術館・分館 爲三郎記念館 (学芸課 ^{おやいづ} 小柳津 綾子)
a_suzuki@furukawa-museum.or.jp

〒464 - 0066 名古屋市千種区池下町2-50

電話052-763-1991 FAX052-763-1994

<https://www.furukawa-museum.or.jp/>

篠田桃紅（1913-2021）は、107歳の生涯を、墨による芸術創作にかけ、人生を切り拓くように常に新しい表現を目指した美術家です。独自のスタイルを模索して1956年から58年にかけて単身渡米し、全盛期の抽象表現主義の巨匠たちとも親交を深めます。滞在したニューヨークでは、桃紅の墨と筆の可能性を追求した抽象芸術は大きな称賛を受けました。帰国後は、書の意味や形にとられない水墨の線と色による形象、心身から生み出される墨の痕跡美による桃紅ならではの水墨抽象を確立しました。

本展では、篠田桃紅の創作活動を長年見守ってきたザ・トールマン コレクションより、1960年頃から100歳を超えた晩年までの総数50点余りを、古川美術館・分館爲三郎記念館の両館にて展覧します。古川美術館では、公開する機会の少ない貴重な肉筆作品を紹介します。墨線の勢いや発色の広がり、和紙のにじみ、ぼかしといった偶然性をいかした大作をお届けします。また、昭和初期創建の数寄屋建築である分館爲三郎記念館では、表現技法の一つとして情熱を傾け、50年に渡り千点以上制作したという桃紅のリトグラフ作品を展覧します。摺り上がった版画の多くは、一つ一つ手彩色を施し、装飾やリズム感など表情の異なる作品へと仕上げています。自然光の移ろいの中、間近で篠田桃紅作品と向き合える、一期一会のひとときをお楽しみください。

展覧会概要

- 【展覧会名】 古川美術館・分館爲三郎記念館同時開催
「追悼 篠田桃紅 107年のキセキ」展
- 【会 期】 2024年6月15日（土）～7月28日（日） 38日間
観覧時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時半まで）
月曜日休館 但し、7月15日（月・祝）は開館、翌16日（火）は休館
- 【会 場】 古川美術館、分館爲三郎記念館 両館同時開催
- 【主 催】 公益財団法人 古川知足会（古川美術館）
- 【監修／作品協力】 ザ・トールマン コレクション
- 【協 力】 （株）クオラート
- 【特別 協賛】 SMBC日興証券株式会社
- 【後 援】 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 中日新聞社 CBCテレビ
スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
- 【観 覧 料】 大人1,200円 高・大学生500円 中学生以下無料
いずれも美術館・記念館との共通券
美術館単館券900円 / 記念館単館券600円

◆展示作品 総数50余点

- 【古川美術館】25点程 肉筆作品
【爲三郎記念館】20～30点程 リトグラフ中心に展示（肉筆作品も数点展示）

◆展示内容

没後三年となる篠田桃紅の総数50余点をザ・トールマン コレクションから紹介。古川美術館では1960年頃より晩年までの貴重な肉筆作品を、分館爲三郎記念館では桃紅のリトグラフ作品を展覧します。

◆関連イベント

- ①内覧会6月14日（金）14時（古川美術館・分館爲三郎記念館）
- ②学芸員によるギャラリートーク
6月16日（日）、6月28日（金）、7月19日（金）各日14時 ※古川美術館のみ
- ③ザ・トールマン コレクションによるギャラリートーク
毎週水曜日、土曜日 11時 ※分館爲三郎記念館のみ

◆ザ・トールマン コレクションについて

1972年創業。日本現代版画を海外へ広く紹介しており、篠田桃紅の作品を扱う画廊としては質量ともに随一です。篠田桃紅展期間中は、ザ・トールマン コレクションのスタッフが爲三郎記念館に在館予定です。

篠田桃紅

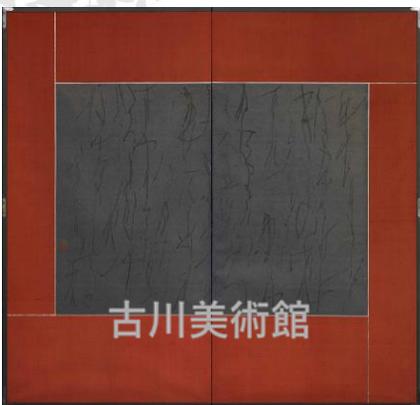
美術家。1913年中国大連に生まれる。5歳の頃から父に書の手ほどきを受け、以後独学で書を極める。雅号は桃紅。戦後、墨を用いた抽象表現で新たな形を切り拓く。1956年に渡米しニューヨークを拠点として個展を開催し、以後世界的な評価を得る。58年に帰国後は、増上寺の襖絵をはじめ建築に関わる壁画などの仕事も多く手掛ける。また、リトグラフの制作や随筆など活動は多岐に渡る。2021年逝去。

- 1913年 3月28日、旧満州国大連に生まれる（本名満洲子）
- 1914年 父の転勤で東京に移る
- 1919年 この頃、初めて筆と墨に触れる。その後、父から書道を学ぶ
- 1940年 銀座・鳩居堂で書の初個展
- 1945年 既成の書の形にとられない墨による新たな形を描き始める
- 1956年 渡米し、ニューヨークに滞在（～58年）
帰国後、水墨による抽象表現を探究。日本で制作し、国内のみならず世界各地で個展を開催
- 1960年 フィラデルフィアから来日した刷り師アーサー・フローリーの勧めでリトグラフ制作を始める。版画刷り師の木村希八とともに約50年に渡り千点を超える作品を生み出す
- 1963年 山梨県富士山麓にアトリエを構える
- 1974年 増上寺大本堂、ロビーに壁画を、道場に襖絵を制作（東京）
- 1979年 『墨いろ』が第27回エッセイスト・クラブ賞受賞
- 2015年 『一〇三歳になって分かったこと 人生は一人でも面白い』（幻冬舎）
45万部を超えるベストセラー
- 2016年 KITTE名古屋開業記念「篠田桃紅展」（ザ・トールマン コレクション企画）
- 2021年 3月1日、107歳で逝去

展覧会の見どころ

◆ 展示会場：古川美術館

没後3年となる追悼展として、長年、篠田桃紅の制作を見守ってきたザ・トールマンコレクションより、主要な篠田桃紅の肉筆作品を紹介 25点程



篠田桃紅「Kiri no Hana」（桐の花）1958年頃
ノーマン H. トールマン蔵
[92×62cm]×2（[159×83cm]×2）※詩・三好達治
来歴：故ブランチェット・ロックフェラー（ジョンD.
ロックフェラー三世夫人）

★出品中、最も制作年が早い作品。
紺紙に銀泥で三好達治の詩を書いた本作の
旧蔵は、ジョンD.ロックフェラー三世夫人。



篠田桃紅「Commemoration I・II」（祝）
1983年 メリー S., ノーマン H. トールマン蔵
[185×94cm]×2

★ノーマン H. トールマン夫妻の銀婚式
を祝い制作された大作。



★三好達治の詩の一節
『桃紅絵本』二冊セット（世界文化社）の内、
一冊の表紙絵となっている

篠田桃紅「Gone with the Wind」1963年
[38×45cm]（[56.5×87.5cm]）
※三好達治の詩の一節

◆ 1956～58年にかけて滞在したニューヨークからの帰国後に生み出された、墨による新たな抽象表現



★ニューヨークからの帰国まもない桃紅40代後半での制作。キャンバス地に墨と銀泥で表現された作品。

篠田桃紅「Just Before Dawn」(朝ぼらけ)
1960年頃 [90×177cm]([118.5×224cm])



篠田桃紅「Daybreak」(夜明け) 1967年
[124×124cm] ([202×156cm])
来歴：ベティ・パーソンズ・ギャラリー
(ニューヨーク)

★来歴はベティ・パーソンズ・ギャラリー。ジャクソン・ポロックやマーク・ロスコなどの抽象表現主義に注目し、時代を牽引したニューヨークのギャラリー。篠田桃紅も所属アーティストとして、定期的に個展を開催した。



篠田桃紅「Silent Passion」2007年
[100×75cm] ([139×99cm])

★力強いストロークにより、湧き上がる情熱を表した作品。



篠田桃紅「Awakening」2012年
[57×76cm]([121×103cm])

★墨を用いず、朱(赤)と胡粉(白)の二色により表現。面と交差する勢いのある筆線による鮮やかな作品。

◆ 100歳を超えて制作された晩年の作品



篠田桃紅「Omnipotence」2014年
[45×170cm] ([68×210cm])

★100歳を超えて制作された晩年の大作



★出品中、最も制作年が新しい作品 104歳

余白なく、朱による細い縦線、胡粉による太い横線、中央の胡粉による細い縦線により構成された作品。

篠田桃紅「Between the elements」(二河白道)
2017年[90×70cm] ([112×88cm])

◆ 展示会場：分館 為三郎記念館 (旧古川為三郎邸)

長年情熱を注いだリトグラフの名品、大作 20～30点程

篠田桃紅は、1960年にフィラデルフィアから来日した刷り師アーサー・フローリーの勧めでリトグラフ制作を始める。版画刷り師の木村希八(1934-2014)とともに約50年に渡り千点を超える作品を生み出した。ほとんどのリトグラフには、桃紅による手彩色が施された一点ものとなっている。

★リトグラフ作中、最大の大作 →

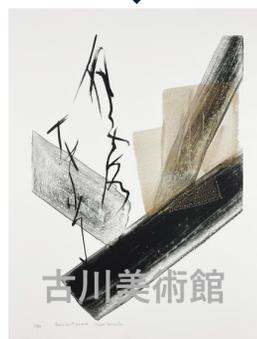


篠田桃紅「To the Future」リトグラフ
1986年 110×200cm



篠田桃紅「Inishie」リトグラフ
1986年 200×109cm

★かすれ、にじみ、奥行きを感じさせ、刷り師・木村希八の技巧が冴える作品



篠田桃紅「Ancient Poem」リトグラフ
1996年 72×53cm



篠田桃紅「Fleeting Passage」リトグラフ 1983年
72×53cm

篠田桃紅展 古川美術館出品作品（肉筆作品） パブリ用

※画像の利用を希望される場合は、必ず古川美術館までご連絡ください。



篠田桃紅「Omnipotence」2014年 45×170cm



篠田桃紅「Silent Passion」2007年
100×75cm



篠田桃紅「Awakening」2012年 57×76cm



篠田桃紅「Gone with the Wind」1963年
38×45cm

【お問い合わせ】

公益財団法人 古川知足会 古川美術館・分館 為三郎記念館
電話052-763-1991 FAX052-763-1994(学芸課)

展示会担当学芸員 ^{おやいづ} 小柳津綾子(a_suzuki@furukawa-museum.or.jp)
広報担当学芸員 山内綾子(a_yamauchi@furukawa-museum.or.jp)

篠田桃紅展 爲三郎記念館 出品作品 (リトグラフ作品)
篠田桃紅ポートレート パブリ用

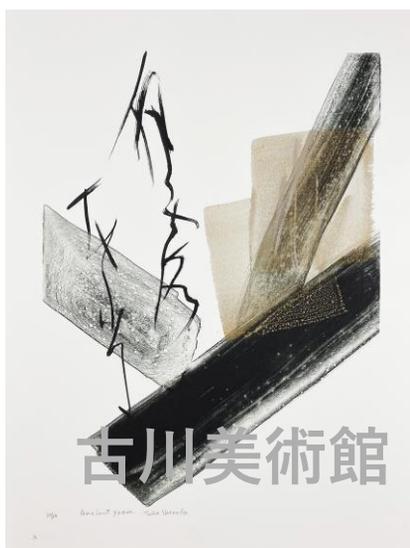
※画像の利用を希望される場合は、必ず古川美術館までご連絡ください。



篠田桃紅「To the Future」リトグラフ
1986年 110×200cm



篠田桃紅「Inishie」リトグラフ
1986年 200×109cm



篠田桃紅「Ancient Poem」リトグラフ
1996年 72×53cm



篠田桃紅「Fleeting Passage」
リトグラフ 1983年 72×53cm

【お問い合わせ】

公益財団法人 古川知足会 古川美術館・分館 爲三郎記念館
電話052-763-1991 FAX052-763-1994(学芸課)

展示会担当学芸員 おやいづ 小柳津綾子(a_suzuki@furukawa-museum.or.jp)
広報担当学芸員 山内綾子(a_yamauchi@furukawa-museum.or.jp)